

平成29年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会

一般検査部門 精度管理調査報告

名古屋大学 医学部附属病院 医療技術部
臨床検査部門
岩崎 卓識

サーベイ項目と目標値 および評価設定

- ★ 尿定性検査：（試料41・42）サーベイ用に調整された 2試料

尿試料	試料41	試料42
蛋白	(1+)	(2+)
糖	(1+)	(3+)
潜血	(1+)	(3+)

目標値をA評価（正解）、目標値から上下1段階までをB評価（許容正解）、2段階以上外れたものをD評価（不正解）

- ★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）：（試料43・44）
サーベイ用に調整された擬似便 2試料

便試料43	便試料44
(+)	(+)

目標値をA評価（正解）、目標値から外れたものをD評価（不正解）

- ★ フォトサーベイ（写真問題）
10題（尿沈渣8題、脳脊髄液1題、寄生虫1題、写真11枚）
教育問題10題（赤血球形態10題：評価対象外）
正解をA評価、不正解をD評価とした。

お詫びと訂正

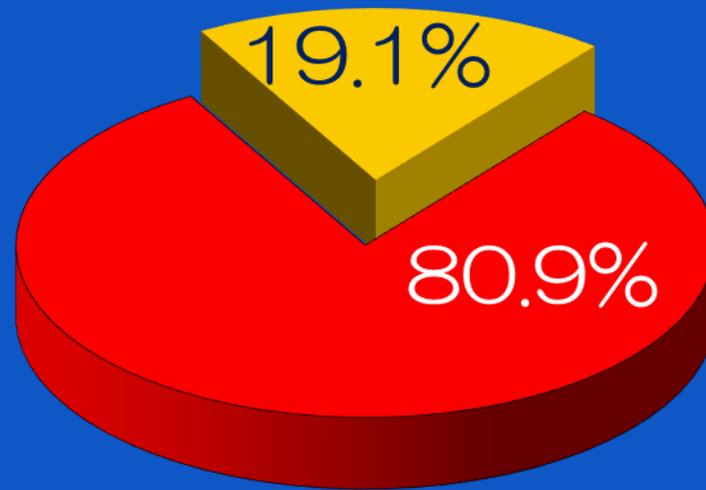
2017年10月中旬にWebにて公開しました、施設別精度管理調査報告書の一般部門において、フォトサーベイについての表記の一部に誤りがありました。関係者におきましては、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

該当箇所	誤	正
【フォトサーベイ】	・ 正解を A 評価、不正解を <u>C 評価</u> とします。	・ 正解を A 評価、不正解を <u>D 評価</u> とします。

※本年度より、日臨技の評価に準拠した評価に変更しております（不正解：評価C⇒評価D）。

※各参加施設の評価判定に変更はありません。

尿定性検査判定方法 (n=115)



■ 目視判定 (22) ■ 機器判定 (93)

近似選択法
(切り捨て法の施設は無し)

※未記入は集計より除外施設数

尿定性検査（蛋白） (n=118)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	4	3.4	B	±	0	0.0	
1+	113	95.8	A	1+	1	0.8	B
2+	1	0.8	B	2+	104	88.2	A
3+	0	0.0		3+	12	10.2	B
4+	0	0.0		4+	1	0.8	D

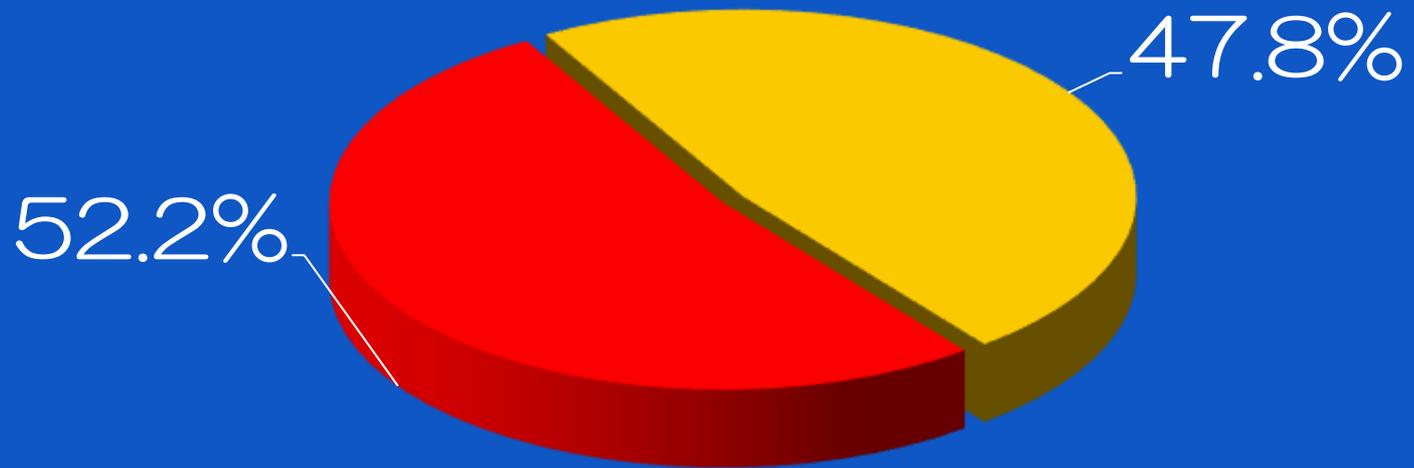
尿定性検査（糖）（n=118）

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率（%）	評価	蛋白	施設数	回答率（%）	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	2	1.7	B	±	0	0.0	
1+	113	95.8	A	1+	0	0.0	
2+	3	2.5	B	2+	2	1.7	B
3+	0	0.0		3+	111	94.1	A
4+	0	0.0		4+	5	4.2	B

尿定性検査（潜血）_(n=118)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	7	6.0	B	±	0	0.0	
1+	89	75.4	A	1+	1	0.8	D
2+	22	18.6	B	2+	6	5.1	B
3+	0	0.0		3+	111	94.1	A
4+	0	0.0		4+	0	0.0	B

便潜血検査判定方法 (n=92)



■ 目視判定 (44)

■ 機器判定 (48)

便潜血検査

定性結果	試料43		試料44	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
(-)	0	0.0	0	0.0
(+)	92	100.0	92	100.0
合計	92	100.0	92	100.0

$\mu\text{g/g}$ 便の平均値と標準偏差

H29	施設数	平均値 ($\mu\text{g/g}$ 便)	標準偏差
試料43 ($100.0 \mu\text{g/g}$ 便)	48	110.94	18.92
試料44 ($50.0 \mu\text{g/g}$ 便)	48	57.82	10.45

(参考：H28)	施設数	平均値 ($\mu\text{g/g}$ 便)	標準偏差
試料43 ($100.0 \mu\text{g/g}$ 便)	48	95.35	9.98
試料44 ($50.0 \mu\text{g/g}$ 便)	48	47.11	6.12

フォトサーベイの正解率

	評価A (%)	評価C (%)
設問1	96.0	4.0
設問2	99.0	1.0
設問3	97.0	3.0
設問4	95.0	5.0
設問5	96.0	4.0
設問6	93.9	6.1
設問7	100.0	0.0
設問8	100.0	0.0
設問9	98.9	1.1
設問10	99.0	1.0
平均正解率 (%)	97.5	2.5

フォトサーベイ（設問1～4）

設問		回答	件数	割合（％）	評価
設問1	1	A：非系球体型赤血球 B：非系球体型赤血球	3	3.0	D
	3	A：系球体型赤血球 B：非系球体型赤血球	95	96.0	A
	4	A：系球体型赤血球 B：系球体型赤血球	1	1.0	D
設問2	3	大食細胞	98	99.0	A
	4	尿細管上皮細胞	1	1.0	D
設問3	1	扁平上皮細胞	1	1.0	D
	3	大食細胞	1	1.0	D
	4	尿細管上皮細胞	1	1.0	D
	6	異型細胞 (尿路上皮癌細胞疑い)	96	97.0	A
設問4	2	尿路上皮細胞	3	3.0	D
	4	尿細管上皮細胞	2	2.0	D
	5	円柱上皮細胞	94	95.0	A

フォトサーベイ（設問5～10）

設問		回答	件数	割合（％）	評価
設問5	1	硝子円柱	3	3.0	D
	2	上皮円柱	95	96.0	A
	4	脂肪円柱	1	1.0	D
設問6	2	上皮円柱	5	5.1	D
	3	顆粒円柱	1	1.0	D
	5	ろう様円柱	93	93.9	A
設問7	6	シスチン結晶	99	100.0	A
設問8	4	コレステロール結晶	99	100.0	A
設問9	2	単核球：多形核球=1：4	1	1.1	D
	5	単核球：多形核球=4：1	93	98.9	A
設問10	2	鞭虫卵	96	99.0	A
	5	蟯虫卵	1	1.0	D

一般検査部門 精度管理調査まとめ

- ★ 今年度の精度管理調査参加施設は、尿定性検査118施設、便潜血検査92施設、フォトサーベイ99施設であった。参加施設数は、昨年度よりも若干減少したがほぼ同等であった。
- ★ 尿定性検査のA評価＋B評価は、99.2～100%であり、JCCLS尿検査標準化委員会の指針に、ほとんどの施設が準拠しており、良好な結果が得られた。
- ★ 便潜血検査の定性結果は、目視判定が正解率100%、機器判定は100%と良好であった。本年度も、採便容器への採取方法・処理方法について、厳密に実施手順書に指示したが、平均値、標準偏差（分散）ともに上昇し、バラつきを認めた。
- ★ フォトサーベイについては、前年同様、平均正解率が97.5%と昨年の95.8%よりも改善し、概ね良好な結果であった。来年度も「尿沈渣検査法2010」の分類基準に従い回答していただく予定である。